

平成19年度小野市(普通会計)

◇ ◆ ◇ バランスシート(小野市の資産と負債の状況) ◇ ◆ ◇

平成19年度末の市民一人あたり

資 産	134万7千円 (対前年度比 2万4千円減)
負 債	36万9千円 (対前年度比 1万6千円減)
純 資 産	97万8千円 (対前年度比 8千円減)

参考	兵庫県民1人あたり
資 産	114万円
負 債	75万円
純 資 産	39万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成19年度末のバランスシートによると、過去約39年間に取得、建設した土地、建物などの資産合計は670億2,343万円となり、取得費に対して減価償却費が上回ったことや財政基金の取崩し、退職手当組合積立金の皆減(算定方法の変更)などにより前年度から12億8,382万円減りました。一方、負債合計は183億6,289万円となり、地方債の減、退職給与引当金の増(積立金不足額の加算)などにより、前年度から8億4,633万円減りました。資産から負債を差し引いた純資産は486億6,054万円となり、前年度から4億3,749万円減りました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が571億1,012万円と全体の85.2%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの土木関係費が287億2,355万円、小・中学校の用地や校舎などの教育関係費が182億1,955万円で、合わせて82.2%とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職給与引当金を合わせた固定負債が165億2,741万円、20年度償還予定額が18億3,548万円となっています。

これを市民1人当たりのバランスシートでみると、市民1人当たりの資産は134万7千円、負債は36万9千円となり、純資産は97万8千円となりました。前年度と比較すると、資産は2万4千円の減、負債は1万6千円の減となり、純資産は8千円の減となりました。

平成20年8月25日